

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科

学校案内 2018



LEARN TO LEAD

KEIO MBA

2年後の自分を思い描く



“仕事ができる”という評価に満足してられない。 さらに大きく強くなるために、ここに来た

坂入 誠

経営管理研究科修士課程2016年修了

現在：株式会社群馬銀行営業統括部チャネル戦略室副推進役

KBSでの2年間は、銀行10年の経験でやや高くなっていた鼻を、ポキポキと何回もへし折られる日々でした。まさに井の中の蛙だったのです。しかし、「よし、頑張るぞ」と身につけた広範な知識と実践力、コミュニケーション力、論文作成力、そして幅広く多様な人脈を思うと、あのとき鼻を折られて本当によかった、と強く感じています。

派遣してくれた勤務先の群馬銀行は、いわゆる地方銀行。現在の地銀を取り巻く環境は、人口減少・高齢化、マイナス金利、フィンテックという言葉に象徴される技術革新への対応など、変化が激しく、なかなか厳しいものがあります。MBAというPEST分析の材料には事欠かない業界です。

派遣前は3つの拠点で、法人融資と顧客対応の渉外を担当していました。10年も経験すると、慣れとともに物足りなさもありました。自己啓発としてチャレンジしていた税理士試験も2科目は合格したものの、条文暗記に終始する学習内容に疑問も感じていました。そんな時に、KBSへの派遣研修制度の募集があり、手を挙げました。当

行では既に先輩2名が修了しており、その活躍を見て、自分も壁を破りたいと思ったのです。すでに子供もいましたが、派遣期間中は横浜にある独身寮に住まいを移し、単身赴任。土日に群馬の家に戻る生活。収入が確保されて、しかもフルタイムで自由に勉強に打ち込める環境を整えてくれた当行には深く感謝しています。

2年間の濃密な学びで得たもの

新入生には、私のような企業派遣の人も、退職して学ぶ人も、大学新卒も、中国などからの留学生もいると聞き、果たして自分の存在感を示すことができるのか、入学前には一抹の不安がありました。しかし入学直後の伊豆・下田での5泊6日の入学合宿で、多様な構成の10人グループで議論をするうちに不安は解消。誰にも経験で得た得意な分野はあるし、新卒の人は新鮮な意見を持っています。私の場合は、会計や財務の知識分野で貢献できたし、マーケティングや生産管理などは他の人との議論で学べると実感し、安心して1年目

～先輩の姿を自分に重ねて～

真に価値ある MBA 取得を目指し、
年齢、性別、国籍、仕事経験など、
さまざまな人が集まり、学び議論する場所。
それが KBS

の勉強に邁進できました。また、企業派遣の受験生の人には、自分の仕事の棚卸しをして、強みや得意なことを整理しておくことをお勧めします。面接で役立つことはもちろん、入学後の学びにもつながると思います。

1年目は、8領域を体系的かつ横断的に学びました。このインプットの学びで、私の引き出しは質量ともに充実しました。KBSの良い点は、授業で毎回発言が課せられること。つまり毎日予習をして答えを用意する習慣がつかます。発言は賛同されることも、否定されることもあります。分析が甘かったことを反省したり、他の人の意見に感心したりしながら、最良の結論を出すことにグループで議論を尽くします。ダイバーシティ環境の中で、目から鱗の意見を聞き、その発想を自分で取り込み、視野が大きく広がりました。グループ室で仲間とプレゼン準備で夜遅くまで議論したことも何度もあります。教室だけでなく、帰宅前に数人集まって飲みながら議論するのも、有意義でした。授業の話の延長から、各々の仕事に関することなど、他業種のことを聞くのは刺激的でした。

2年目のメインは、林洋一郎先生の組織行動がテーマのゼミ活動。1年目に吸収した知識を活かして取り組むのですが、1年目でわ



坂入さん(中央)と先輩の須藤さん(左:2014年修了)、栗原さん(右:2011年修了)



かったつもりになっていることが、実は深いところではわかっていなかったのだ、と思い知らされることが続出。先生と他2人のゼミ生との議論は、深夜に及ぶこともよくありました。やはり1年目のインプットだけでは、知識も技法も本当に問題解決に使えるものにはなりません。慶應の伝統である半学半教の精神で、小人数で教え合い学び合いながら濃密な議論を重ねたこの2年目があったからこそ、問題を解決する力がついたと思います。

これからの目標・展望

修了後の現在は、営業統括部チャネル戦略室において、店舗開発を行っています。効果的・効率的な拠点を作ることが目的ですが、カタチはできてもそこで働く人のモチベーションが高くないと、質のいい業務はできません。組織行動のゼミで学んだことを活かし、働き方や営業体制まで考えてチャネルを構築したいと考えています。

組織の枠にとらわれず、銀行が良くなるようにアイデアを出すことを心掛けています。そんな多角的、横断的な発想がこれからは大切になると思います。個人的には、変化する地銀業界で、自分らしい新しい発想で問題解決をし、何らかの足跡を残せたらと思っています。

人事担当者から

未来戦略を立てられる人材になってほしい

伊丹昌幸 株式会社群馬銀行人事部人材開発室室長

当行は歴史も実績もあり、業務に的確な戦術をもって動ける人間は大勢います。しかしながら、今後は環境の変化に対応して、未来戦略を描ける人材が不可欠となります。そこでトップの考えを具体的なプランにする、企画本部で未来戦略を立案する人材を養成すべく、坂入の前にも2名、合計3名をKBSに派遣しました。期待するのは、銀行業務を

いったん離れて、広い視野のもとで、体系だった知識を身につけ、多彩な経歴の人たちに刺激を受け、また広範な人脈をつくり、大きな人間になって帰ってきてくれることです。修了後には、彼らが得たものを、十分に発揮して、新しい戦略を立案できるポジションに適材配置しています。

ディスカッション、プレゼンで鍛えたコミュニケーションスキル



社会人経験4年後、退職して
2015年入学

趙 盈燁

経営管理研究科修士課程2017年修了

大学で国際会計を学び、中国のUnited Overseas Bankのリスクマネジメント部でマーケットリスクコントロールに関する仕事に携わっていました。ここで経験した4年間の知見を整理するとともに、金融以外の知識も身につけ、自分の視野をより広げることで今後のキャリアアップにつながるのではないかと考えていました。

KBSは日本国内で有数のビジネス・スクールであることや、財務・会計などのこれまでの自分に関連する分野から、組織マネジメントや経営戦略などの興味のある分野まで、幅広い科目を設置しているところに魅力を感じました。さらに日本で働きたいという思いもあり、経営に関する知識が必要だと考え、ケースメソッドも充実しているKBSへ進学することにしたのです。財務を中心として幅広い視野や観点が身につくだろうというイメージを抱いていました。

実際に入学してみると、ケースメソッドを通して経営を学んだり、財務ゼミに所属しM&Aに関して研究したり、さまざまなプロジェクトに参加したり、交換留学を経験したり、財務以外にも広く学ぶことができました。さらに母国以外の文化を知ることができたのもいい経験です。

私がKBSで学んだ最大の成果は、コミュニケーションスキルの向上です。日々のグループディスカッションでさまざまなバックグラウンドの人たちと議論したり、大勢の前でプレゼンテーションをしたりすることで、論理的な思考や発言のタイミングの大切さを学びました。また、交換留学では英語力の向上だけでなく、グローバルな考え方の理解を深めることができました。

巻頭 特集

2年後の自分を思い描く ～先輩の姿を自分に重ねて～

自分の可能性を広げてくれる同級生とのネットワーク



社会人経験8年後、退職して
2015年入学

鎌形 博展

経営管理研究科修士課程2017年修了
現在：株式会社リハネス

救急救命センターの医師として8年間働いて思ったことは、日本の医療を取り巻く環境が整備されていないために、医療従事者も患者もさまざまな場面でストレスを感じているということです。医療従事者は退職する人やバーンアウトする人が多い一方、患者は助かる人が助からなかったり、逆に無理やり生き永らえていたりするのが現状です。そのような悪環境を変えられないかと真剣に思ったことが入学の動機です。

環境を変えるための手段としては、行政かビジネスだと考え、ビジネス・スクールで経営を学ぶことは有意義だと感じました。KBSが、国内のビジネス・スクールのなかで最も医療関係教授陣が充実していることも決め手の一つでした。

入学前は、ビジネスのことがよくわかるようになり、医療業界において経営に関わるには十分なレベルになるはずだというぼんやりとした思いがありました。そして現在は、そのレベルは十分に達成でき、さらに思っていたよりもチャンスは広がっていると感じています。しかしその一方で、ビジネス・スクールでは実務そのものが学べるわけではありません。学んだ知識や考え方をどのように実務に生かしていくかが今後の課題だとも痛感しています。

また、医師の仕事は思っていたよりビジネスとの親和性が高く、日々の学びに対してはそれほど苦になりませんでした。それ以上に、知識の幅が広がり、ネットワークは期待通りに拡大できました。多種多様な経歴を持つ同級生の彼ら、彼女らから受ける刺激はかけがえのないものであり、ここで形成したネットワークが可能性を大きく広げてくれるに違いありません。

経営者を目指す者として、大きく視野が広がった



社会人経験7年後、休職して
2015年入学

矢野 志保

経営管理研究科修士課程2017年修了
現在：株式会社クラウン総合技術研究所 企画・戦略本部

父親の経営する会社で経営秘書として、内部監査や資金繰り、経営企画等の業務を行っていました。新規事業を含め会社が拡大するなか、きちんと経営学を身につける必要性を感じてはいたものの、休職してまで学ぶべきかどうか迷っていました。その時に、さまざまな立場の方々と自由にその経験と価値観に照らして議論するケースメソッドの奥深さを知り、強く興味を惹かれました。同時にそれは一朝一夕に習得できるものではないし、効果も得られないと感じ、30代を目前に、腰を据えて勉強できるのは今しかないと確信して休職。学習に十分に時間をかけることのできる学校を探した結果、KBSが最もふさわしいと思い入学を決断しました。

実際にKBSでは皆さんの前で発言する機会がとて多く、プレゼンの機会も豊富にあることから、怖がらずに自分を試すことができました。同時に、いろいろな価値観に触れることで自分の視野が広がり、得られる情報が多くなりました。そうした経験が自分を成長させてくれたのだと感じています。

さらに、多様な背景を持つ同期の人たちの、仕事で苦労した話やそれをいかに乗り越えたかなどという話を、ケースの延長線上で聞くことができ、あらゆる立場の方々の思いを想像できるようになったことが、私にとっていちばん大きな成果だと思っています。経営者としては、人が仕事をする上で日々どのようなことを感じているのかということに敏感に感じ取る必要があります。KBSで得たことは、今後の人生において確実に私を助けてくれることでしょう。

個人を磨く場であると同時に、仲間をつくる場です



慶應義塾大学環境情報学部卒業後
2015年入学

新卒

内山 貴博

経営管理研究科修士課程2017年修了
現在：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

大学では積極的にインターンシップに取り組みました。ある戦略コンサルティングサービスを提供するベンチャーでは、データサイエンティストとして、クレジットカードや小売、百貨店などをクライアントとしたプロジェクトのデータの解析からキーチャートの作成、AIのR&Dなどを担当しました。またあるベンチャーでは、新規事業立ち上げの失敗を経験し、これがKBSで学ぼうと思ったきっかけになりました。新規事業の看板を下るした後、さまざまな経営の教科書を読んで失敗の原因を探っていた私は、自分がいかにビジネスの基本を知らず、無軌道にビジネスを走らせていたかに気づかされました。経営の「型」を学びその「応用力」を身につける必要性を痛感し、大学卒業後すぐにKBSに入学。自分のビジネスの理想形を、早い段階で自身の内に持つことが重要だと考え、ケースメソッドを採用するKBSであれば、その「型」を学びながらも、社会に必要な「応用力」をも練習することができると思ったのです。

そのため、入学直後は「型」を身につけるということにばかり目がいていましたが、同期の方々や授業やコンペなどで協力し合うなかで、時には論理だけでなく情にも訴えかけなければならないことに気づきました。その意味で、「型」にこだわる「論理偏重の世界」から自分の視座が一つ高くなったと思います。

KBSは、個人を磨く場であると同時に仲間をつくる場でもありました。仲間がいなかったことが、先述の新規事業立ち上げの最大の失敗要因だったと、今では思っています。卒業後も仲間とともにKBSで身につけた「型」を実戦で応用しながら、社会に大きく貢献していきたいと思っています。

広く、深く、濃く、そしてタフに——。

不確実な環境で将来を見通し、ビジョンを持って目標を定め、膨大な情報から本質を見抜いて戦略意思決定を行う。ビジネスリーダーには高度な情報分析能力と判断能力が要求されます。そして、自らの分析と判断に基づき、社会と組織を先導することのできる使命感や情熱、リーダーシップが必要です。KBSの国際水準の教育の質と圧倒的な学習量によって、このような多くの素養を身につけることができます。

●1年次の基礎科目では、マネジメント能力の基盤となる主要8領域を実践的なケースメソッドで学び、総合演習科目でそれらを領域横断的・有機的に活用する方法を学びます。

●2年次には、ビジネス上の強みとなる専門能力を深化させるため、各自のキャリアプランに応じた専門科目群を履修しつつ、少人数制のゼミナールで問題発見・解決能力を磨きます。さらに、国際的なビジネス感覚を養うための各種国際プログラムを用意しています。

LEARN TO LEAD—KBSのカリキュラムは、リーダーとなるための幅広いマネジメントスキルと深い専門性、それらを総合し発展させるための方法論を提供します。

(KBSでの2年間で体得できる学習成果)

1年次

2年次

経営に関する基盤知識の獲得

特定領域の能力、知識の獲得

経営に関する各領域を幅広く理解する

学生個々の興味と素質に応じた、将来のキャリア形成に役立つ専門能力と知識を深く学ぶ

主要8領域の基礎科目 P-7

専門科目 P-9

ゼミナール P-9

総合演習科目

修士論文 P-9

国際プログラム P-11,12

2年間を通して

リーダーとしての資質の獲得

使命感、強い精神力、深い洞察力、創造性、広い視野など、組織と社会のリーダーに必要とされる資質を磨く

ケースメソッドを中心とした実践的教育

KBSについて

1962年に創立された、日本で最も歴史のあるビジネス・スクールです。MBAやPh.D.といった学位を授与するプログラムを提供する【慶應義塾大学大学院経営管理研究科】と、様々な短期間のエグゼクティブセミナーを提供する【慶應義塾大学ビジネス・スクール】があり、両者を包括して、創立時からの名称である「KBS」と呼んでいます。

KBS Mission Statement

KBSは新たな構想を作り実現するリーダーを育成する。そのために、多様な学生がともに学ぶ喜びを知り、世界一線級の研究を発信し、実務経験と体系的知識を融合する場を提供する。

世界基準の教育品質保証と国際ネットワーク

KBSは、常に“世界トップクラスのビジネス・スクール”を目標に掲げ、高度な教育の質を確保してきました。2大国際認証機関(AACSB International、EFMD EQUIS)によるグローバル基準での客観的評価による認証を継続して得ています(2017年4月1日現在)。また、世界規模の研究と教育に関する交流を推進するため、国際的なビジネス・スクールのネットワークに加盟し、共同研究・教員交流・学生の交換留学を積極的に行っています。

2大国際認証機関



AACSB International
Association to Advance
Collegiate Schools of Business



EFMD
European Foundation for
Management Development



AAPBS
Association of Asia-Pacific
Business Schools
アジア・大洋州地域の
ビジネス・スクールによる
研究・教育水準向上を推進する協議会



PIM
Partnership in International
Management
世界62校のビジネス・スクールが
加盟する研究・留学ネットワーク



Eduniversal Worldwide
Business Schools Ranking
仏SMBG社による
世界ビジネス・スクールランキング

KBSのMBAには、経営学のすべてがある。

Since 1858

福澤の教え



KBSの学び

Since 1962

「実学の精神」

「半学半教」



慶應型ケースメソッド

学生+教員

ケースメソッドとは実践的な経営教育の方法で、実際の経営状況をまとめた事例を素材に、ディスカッションを通して新たな知恵を共創するものです。科学的な視点で実証的に真理を解明し問題を解決していく慶應義塾伝統の「実学の精神」のもと、KBSでは研究を重ねてきました。常に最先端の経営知見がアップデートされたKBS教員作成のオリジナルケースは、企業経営者へのインタビュー内容だけでなく、教育の場で取り上げる訓練主題も含まれています。

慶應義塾草創期から続く、教える者と学ぶ者との師弟の分を定めず、先に学んだ者が後で学ぼうとする者を教えるという「半学半教」の精神は、KBSの教育においても大切にされており、学生同士や学生と教員とが議論を交える機会にあふれています。議論によって異なる視点・論点を知るばかりでなく、構築される人的ネットワークは卒業後の自身を研鑽してくれる支えともなります。

Message From the Dean

理論・知識のみならず、マインドをも併せ持つビジネスリーダーを育成

河野 宏和

慶應義塾大学大学院経営管理研究科委員長・教授
慶應義塾大学ビジネス・スクール校長

ビジネス・スクールで学ぼうとする人から、経営学の知識を身に付けたいという声を聞くことがあります。しかし、適切な意思決定をするためには、いかに知識を融合し複眼的に考えられるかが問われます。KBSでは、経営に関する理論・体系的な知識と、それを実践に活かしていく応用力、リーダーシップを徹底的に教育します。

KBSは、将来の経営を担うビジネスリーダーの育成をミッションとしており、その方法として、ケース・メソッドを採用しています。ケースとは、企業や組織が直面する経営課題を記述した教材で、授業では、それを読み込んだ上で討論を行います。例えば、新しいマーケティングプランを実行するためには、人や資金が必要となり、ターゲット市場に計画が合致しているかを瞬時に判断しなければなりません。ケース・メソッドでまず身に付けてほしいのは、こうした分野横断的に物事を考え意思決定できるジェネラルな経営能力です。

同時に、自らの専門領域においても深い洞察力を持ってほしいと考えています。ゼミに所属し、修士論文を仕上げ、関連する専門科目を履修することで専門性が鍛えられ、それが、今後のキャリアで自分の依って立つ基盤となります。

もう一つ、とても大切な要素があります。それはマインドセット、つまりビジネスリーダーとしての情熱、使命感、国際感覚などです。

リーダーには、常に自社、市場、競合先のことを考え、社会の中での自社の役割を問い続ける情熱、人を引っ張る強さ、信念といったものが重要です。そのために、異業種・異職種のバラエティーに富んだ人たちが集まる場で、自分に不足しているマインドセットを体得しながら議論し、自分自身を見つめ深めてほしいと考えています。

KBSでは、IPなどによる海外留学のチャンス、あるいは海外の学生がKBSに学びに来る環境を提供し、キャンパス自体の国際化を図っています。IPに積極的に参加し、海外からのIP生と交流して、幅広く日本の特徴や課題を伝えることで国際感覚を磨いていってください。これからの日本、そして世界のために、多くの方が当研究科の門を叩かれることを期待しています。



1年次の学び

ケースメソッドを中心に総合的経営管理能力の基本となる主要8領域を徹底的に学習

基礎科目

総合的経営管理能力の基本となる主要8領域
経営に関する領域を8つに分けて、基礎科目が配置され、全員が必修科目として学びます。1年次後半からはそれぞれの領域に専門科目が配置され、必要な科目を自ら選択して履修します。

会計管理

組織マネジメント

マーケティング

経済・社会・企業

財務管理

生産政策

総合経営

経営科学

入学合宿 (4月上旬・5泊6日)

同期の仲間や教員とほとんど初対面で行われる合宿形式の授業は、本研究科の勉強に浸っていく絶好の機会です。日常と同じ時間割構成でグループディスカッションとクラスディスカッションが進みます。夜は毎晩グループ室で予習に励み、翌日に備えます。

様々な職場や環境から入学した、年齢も立場も違う学生同士が、1つのビジネス・スクールに集い、意識付けを行うための重要な導入合宿です。



1年次に体得する力:「経営に関する基盤知識」

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

■1学期開始

●入学式

入学式後にはオリエンテーションがあり、KBSでの2年間がスタート。



●奨学金申請

各種給付奨学金や、日本学生支援機構奨学金(貸与)の申請受付が行われます。

●中間試験/期末試験

日々の授業に加え、各科目の達成度、理解度を確認する試験が各学期に行われます。



●夏季休校(夏休み)

夏休みを利用して、企業で自主的にインターンシップや、英語の学習に取り組む学生もいます。



■2学期開始

●IP(国際単位交換プログラム)生受け入れ

世界各国のビジネス・スクールから2学期および3学期にそれぞれ15~20名の留学生を受け入れています。留学生とKBS学生が共に学べる授業を英語で開講しています。



●TOEFL ITPテスト

全員受験が義務付けられています。留学を考える学生は継続的な英語の学習がおすすめです。

●平日の時間割

月曜から金曜午前9:00から時間割に沿ってグループ(約10名)やクラス(約50名)で授業が行われています。



11月

12月

1月

2月

3月

■3学期開始

●生産政策(基礎科目)

企業活動において製品やサービスを提供する「生産・供給機能」とそのためのオペレーションに焦点を当て、課題を発見・分析・改善する視点を養います。工場を訪ね、現場で学ぶ機会もあります。



●IP(派遣)選考

世界各国トップレベルのビジネス・スクール協定校から、自身の将来のキャリアに合わせてさまざまな観点で留学先を選択できます。一定の英語力と学業成績をクリアすることが必要です。

1年次修了!

●就職活動

就職活動にあたり、KBS修了生、慶應義塾卒業生の情報の一部を公開しています。希望する業種・企業などで検索し、OB・OGと連絡をとることが可能です。

●ゼミ選択

2年次の学びの中核になるゼミ。教員によるゼミ説明会や教員研究室を訪ねるオープンドア期間が設けられています。



2年次の学び

学び得たことをさらに深め、自らの秘めたる能力や可能性を発見する

ゼミナール

半学半教を実践する少人数での議論で、さらに専門を極める

2年次の学びの中核となるのがゼミナールです。KBSのゼミナールは、慶應義塾の「半学半教」の伝統を最も色濃く受け継ぎ、少人数による、密度の濃い議論を通じ、自ら問題を発見し最先端の理論や技法を駆使し問題解決を図るというスタイル。高度な専門科目を選択履修しながら、所属するゼミナールを1つ選び、各専門分野で研究者として高く評価されている教員の指導のもと修士論文を完成させます。

各ゼミナールは概ね4～6名で構成されているため、マスプロ教育では得られない非常に濃い密度のインタラクションが可能です。経営技法を扱う通常のクラスではなかなか掘り下げられない世界観や歴史観、あるいは人生観、さらには文化、教

養など幅広いトピックについて話し合う場にもなります。濃密な人間関係が築かれることもあり、ゼミ生同士はもとより、先輩・後輩とのつながりも強く、修了後も互いの成長の刺激となる貴重な人脈となります。



2年次に体得する力:「ビジネス上の強みとなる専門能力」

4月

5月

6月

7月

8月

9月

■1学期開始



●ゼミ活動開始

少人数による密度の濃い議論の中で、自ら問題を発見し、最先端の理論や技法を駆使して問題解決に取り組めます。



専門科目

●アジアビジネス・フィールドスタディ(CKJ)

清華大学(中国)、KAIST(韓国)とKBS(日本)の3校合同プログラム。開催国の企業等を訪問し、グローバル市場における海外戦略について政策提言を行うことを目的とした授業。

■2学期開始



●ゼミ合宿

教員とはもちろん、先輩後輩のつながりも強く、在学中に限らず修了後も互いの成長の刺激となる貴重な人脈を形成する場となります。

●IP派遣

留学期間は4カ月と短いながらも世界各国トップレベルのビジネス・スクール協定校で学べる毎日は刺激にあふれています。





10月

11月

12月

1月

2月

3月

■3学期開始

●修士論文発表会



●Council on Business & Society (CoBS)

2011年に設立された、世界トップレベルのビジネス・スクールで構成される国際共同研究・教育のアライアンス。隔年開催の国際フォーラムでは、講演、パネルディスカッション、分科会などを通じ、世界中から集まった政財界のリーダーとともに地球規模で取り組むべきビジネスと社会の課題とその解決に向けた方策を探ります。フォーラムにはKBSの学生も参加する機会があります。



●大学院学位授与式/KBS修了式

修士(経営学)を取得し、自身のキャリアビジョンに基づいて新たな社会での活躍を!

●企業説明会(随時)

KBS学生の積極採用を考えている企業による説明会や、KBS修了生による体験談・個別説明会を随時開催。



世界各国のトップビジネススクールに留学のチャンス

IP 国際単位交換プログラム International Exchange Program

豊富な協定校

交換留学先には世界各国トップレベルのビジネス・スクールが揃っています。さまざまな地域や国の中から、自分自身のキャリアプランや興味のある学問分野、英語力などに応じて最適な学校を選択可能です。

短期の留学プログラム

過去に海外に長期留学した経験のない学生でもチャレンジしやすい3～4カ月の留学プログラムです。

留学前の学習サポート

効率的な学習計画を立ててもらうことを目的に、2014年度から入学時にTOEFL ITPテストを新入生全員に課しています。また、英語でのコミュニケーションの訓練を目的とした授業や、協定校からの留学生も履修するすべて英語で実施される授業を多く設置しているため、日本にいながら留学までに必要なコミュニケーションスキルを習得することができます。

■応募資格

- ①本研究科正規生で、派遣時に第2学年生として在籍する者
 - ②本研究科修士課程第1学年1学期と2学期に履修した基礎科目の平均点が基準点以上であること
 - ③協定校で勉強するに足る語学能力と動機を有する者
 - ・TOEFL iBT (Internet Based Test)の点数が基準点以上であること
 - ・協定校によっては上記基準点以上の語学力を要する場合がある
 - ④本研究科の課程修了の可能性を持つ成績で、修士論文完成の見込みがある者
- ※応募資格は変更になることがあります。

■留学先での履修単位

留学先で取得した単位は、留学先のMBA(またはMSC/MIM等)正規科目に限り、8単位を超えない範囲で本研究科課程修了に必要な単位として認定することができます。

■費用

留学先での登録料と授業料は免除されますが、渡航費、生活費、教科書代、保険代等その他の留学諸経費は個人負担となります。

国際単位交換プログラム 2年間の流れ

第1学年			第2学年		
1学期 4～8月	2学期 9～12月	3学期 1～3月	1学期 4～8月	2学期 9～12月	3学期 1～3月
KBSでの科目履修			留学先での科目履修		
●新入生向け説明会 ●募集説明会		●選考	●出発直前説明会		●帰国後報告会

海外修士号取得を国際キャリアのアドバンテージに

DD ダブルディグリー・プログラム Double Degree Program

最短2年間で2つの大学から学位を取得

KBSと留学先で1年ずつ学び、最短2年間で2つの学位が授与されます。修了後に海外での就職を視野に入れている方や、国際関係のキャリアを希望する方には、大きなアドバンテージとなります。

長期の留学プログラム

ダブルディグリー・プログラムは1年間の留学期間となるため、より専門性を極めるための履修計画を立てることができます。異文化にどっぷり浸かることで確かな国際感覚も身につきます。

■応募資格

- ①本研究科正規生で、派遣時に第2学年生として在籍する者
 - ②本研究科修士課程1学年1学期と2学期に履修した基礎科目7科目のすべてに合格し、その成績平均点が基準点以上であること
 - ③TOEFL iBT100点以上、GMAT600点以上であること
 - ④一定年数の実務経験を有すること
- ※応募資格は変更になることがあります。

■留学先での履修内容

留学先の学校ではMBA(またはMSC/MIM等)正規科目(専門科目)を履修することになります。履修単位は留学先により異なります。

- 留学前に「研究計画書(Study Plan)」「(英語)、全課程修了時点で「成果報

告書」(英語)を提出し、それぞれ審査に合格する必要があります。「研究計画書」には、留学先で履修したい科目のリストおよび、どのような戦略や一貫性をもたせて科目選択をしていきたいか、自身のキャリア計画との関連などについて記載します。「成果報告書」には、履修した科目名だけでなく、課外活動を含めた広義の学問的成果、キャリア形成、異文化理解などの面において、どのような成果が得られたかについて具体的に記載します。

- KBSでのゼミナールには所属せず、KBSでの修士論文は課されません。

■費用

留学先での登録料と授業料は免除されますが、渡航費、生活費、教科書代等その他の留学諸経費は個人負担となります。また留学先により別途自己負担が発生することがあります。

IP 国際単位交換プログラムのすゝめ



吉岡 雄司 2017年修了

The Wharton School, University of Pennsylvania (USA) へ国際単位交換留学
現: BMWジャパンファイナンス株式会社 Sales & Marketing 部門

KBSに入学するのなら、留学には絶対に挑戦するべきです。
私が留学したWharton Schoolに在籍する学生の中には移民の学生も多く、彼らの親世代は語学面で大きな苦しみがあるにも関わらず、子供の世代が豊かになればとの一心で移住するという意思決定をしました。青果店などから廃材を無料でもらい、その日の食事を賄うという苦しい生活をしながらも、子供たちをトップスクールに入学させたのです。
私の同年代でこのような背景をもつエリートたちが世界には実在すること、そうした学生たちと授業・私生活において交流できたこと、彼らの貪欲な姿勢、衝突慣れとも言える異文化対応力を肌で感じたことは、人生における決定的な経験となりました。

DD ダブルディグリー・プログラムのすゝめ



竹入 慶彦 2016年修了

ESSEC Business School へダブルディグリー留学
現: 株式会社LIXIL
Public Affairs 部門 グローバルコーポレートコミュニケーション部

KBSで過ごす1年次に日本語で経営の基礎を深く理解し、次の1年間で留学に臨むDDプログラムのメリットは大変大きいといえます。KBSの基礎科目は海外ビジネス・スクール以上の充実度を誇り、得た知識を活かして留学先のESSECでも気後れすることなく議論やグループプロジェクトに貢献できました。特に、重点的に履修したNegotiation系の科目はハードルの高いものでしたが、ケースを繰り返すなかで、留学後半には他の学生に負けない交渉力を身につけることができました。1年次に基礎科目の学習に注力するなかで、TOEFL・GMATの学習を進めるのは大きな負担がかかりますが、見合うだけの経験が積める価値あるプログラムです。

交換留学協定校 所在地・国



アジア・オセアニア

- Australia
- China
- India
- Korea
- Philippines
- Singapore
- Taiwan
- Thailand

欧州

- Belgium
- Denmark
- France
- Germany
- Italy
- Netherlands
- Norway
- Spain
- Sweden

北米

- Canada
- USA
- 南米
- Brazil

中東

- Israel

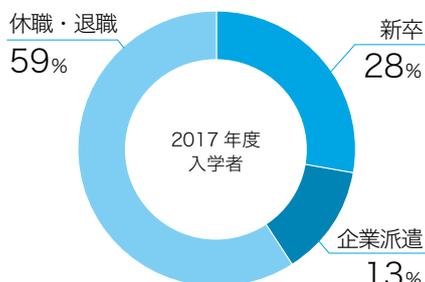
アフリカ

- South Africa

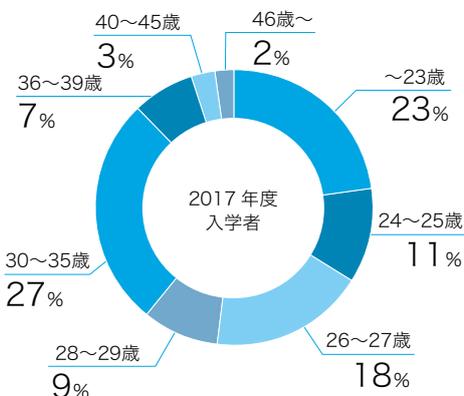
学生プロフィール

多様性あふれるバックグラウンド

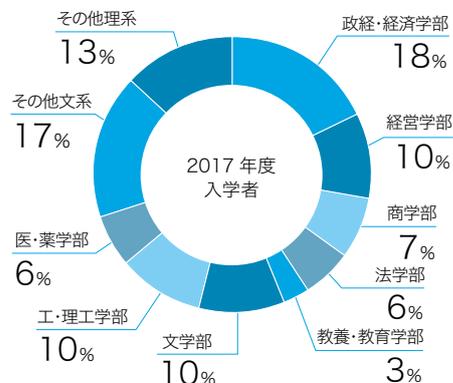
経歴



年齢



出身学部



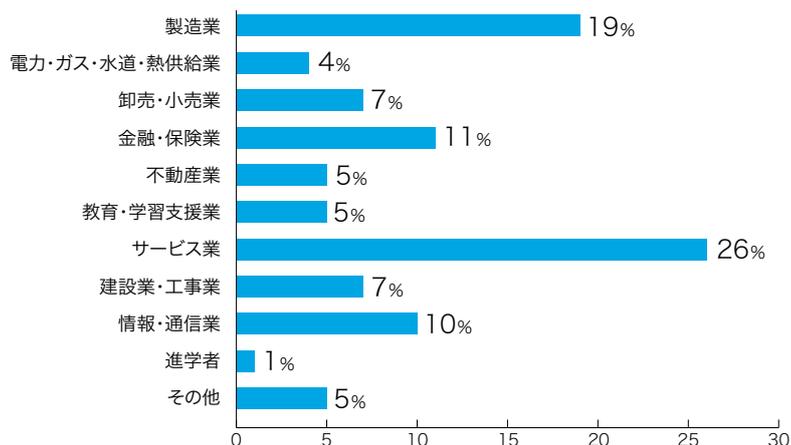
(2017年入学生データ)

キャリア

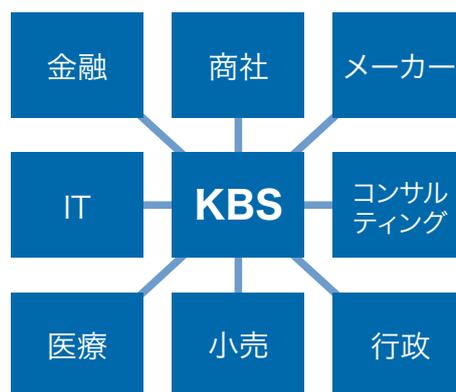
キャリア形成をサポートする就職支援体制

修士課程修了後に就職・転職を考えている学生を対象に、KBSでは一人ひとりの希望に沿ったきめ細かいキャリアサポートを行っています。入学直後から、キャリアについて具体的に考えるセミナーやガイダンスを提供しているほか、企業説明会の開催や個別のキャリア相談を通じて、キャリア形成と志望する進路の実現を支援しています。

- 就職支援専門スタッフの配置
- 就職ガイダンス・キャリア形成支援セミナーの開催
- 企業説明会(随時)の開催
- 求人・インターンシップ情報の紹介
- 転職エージェントの紹介
- 修了生情報の提供



(2017年修了生 2017年3月31日現在)





KBS 同窓会

社中とのつながり。KBSの仲間とのつながり。

卒業生 約 **3,800** 名

修了生は共に学生生活を過ごした同期と強い絆で結ばれるのはもちろんですが、KBS同窓会の活動を通じて縦のネットワークを形成します。KBS同窓会は総会員数約3,800名を抱える大きな組織で、名簿を管理・公開しているほか、メールマガジンの発行、年1回の総会やMBAカフェ、ストラテジックインサイトセミナー(SIS)などのイベントを開催し、幅広い活動を行っています。また、慶應義塾の卒業・修了生の同窓会組織である「三田会」の一員として、業種・職種・国境を超えた有形、無形の価値を得ることができます。

*慶應義塾では、学生を「塾生」と呼び、卒業・修了生を「塾員」と呼び、これに教職員を合わせた組織を一つのカンパニーの構成員として、福澤諭吉は「社中」という言葉で表現しました。

後期博士課程

研究者への道

高等教育機関や研究機関の研究者として、あるいは研究・教育機関以外の各種専門機関において高度な専門家として活躍することを目指す人のために、後期博士課程が置かれています。出身大学大学院修士課程の専攻分野を問わず、経営学分野への旺盛な勉学意欲と問題意識を持ち、高度な学識と識見を積みたい人を広く受け入れています。

経営管理に関する専門科目を履修することに加え、9つの研究教育分野から自分の研究領域を2つ選択し、ケースの開発および事例研究論文の作成発表、総合試験合格、プロポーザル作成、博士論文作成・合格により、博士(経営学)学位が取得できます。

最先端の研究を反映した授業を展開する KBS 教員

生産



河野 宏和

KONO, Hirokazu

教授 / 経営管理研究科委員長 /
ビジネス・スクール校長

専攻分野：
生産政策、生産マネジメント、生産管理論、経済性工学



市来 治

ICHIKIZAKI, Osamu

専任講師（有期）

専攻分野：
生産政策、インダストリアル・エンジニアリング



坂爪 裕

SAKAZUME, Yu

教授

専攻分野：
生産政策、生産マネジメント

財務



小幡 績

OBATA, Seki

准教授

専攻分野：
企業金融、行動ファイナンス、NPO、政治経済学



齋藤 卓爾

SAITO, Takuji

准教授

専攻分野：
コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、企業経済学



高橋 大志

TAKAHASHI, Hiroshi

教授

専攻分野：
企業財務、ファイナンス、アセットプライシング

会計



太田 康広

OHTA, Yasuhiro

教授

専攻分野：
分析的会計研究



木村 太一

KIMURA, Taichi

助教（有期）

専攻分野：
管理会計、マネジメント・コントロール



村上 裕太郎

MURAKAMI, Yutarō

准教授

専攻分野：
分析的会計研究、税務会計

マーケティング



井上 哲浩

INOUE, Akihiro

教授 / 富士通チェアシップ基金教授

専攻分野：
マーケティング・マネジメント、マーケティング・サイエンス、マーケティング・コミュニケーション・マネジメント



坂下 玄哲

SAKASHITA, Mototaka

准教授

専攻分野：
ブランド・マネジメント、消費者行動



山本 晶

YAMAMOTO, Hikaru

准教授

専攻分野：
インターネット・マーケティング、マーケティング・マネジメント、消費者行動



余田 拓郎

YODA, Takuro

教授 / エーザイチェアシップ基金教授

専攻分野：
マーケティング戦略、ビジネス・マーケティング、事業戦略

組織・マネジメント



浅川 和宏

ASAKAWA, Kazuhiro

教授/三菱チェアシップ基金教授

専攻分野:

多国籍企業経営、組織理論、グローバル・イノベーション論



大藪 毅

OYABU, Takeshi

専任講師

専攻分野:

人的資源管理論、労働経済学、医療管理学



清水 勝彦

SHIMIZU, Katsuhiko

教授

専攻分野:

組織マネジメント、企業変革、M & A、戦略実行・変更



林 洋一郎

HAYASHI, Yoichiro

准教授

専攻分野:

産業・組織心理学、組織行動、社会心理学



山尾 佐智子

YAMAOKI, Sachiko

准教授

専攻分野:

国際人的資源管理論、国際経営論

情報・意思決定



大林 厚臣

OBAYASHI, Atsuomi

教授/松下幸之助チェアシップ基金教授

専攻分野:

経済学、産業組織論、リスク・マネジメント



林 高樹

HAYASHI, Takaki

教授

専攻分野:

統計的データ解析、計量ファイナンス



渡邊 直樹

WATANABE, Naoki

准教授

専攻分野:

ゲーム理論、ミクロ経済学、経済実験

経営環境



姉川 知史

ANEGAWA, Tomofumi

教授

専攻分野:

企業経済学、応用ミクロ経済学、国際経営、医療経済学



後藤 励

GOTO, Rei

准教授

専攻分野:

医療経済学、行動経済学、保健医療政策



中村 洋

NAKAMURA, Hiroshi

教授

専攻分野:

経済学、産業組織論(ライフサイエンス、ヘルスケア、IT)、経営戦略論

総合経営



磯辺 剛彦

ISOBE, Takehiko

教授

専攻分野:

経営戦略、グローバルマネジメント



岡田 正大

OKADA, Masahiro

教授

専攻分野:

経営戦略論



小林 喜一郎

KOBAYASHI, Kiichiro

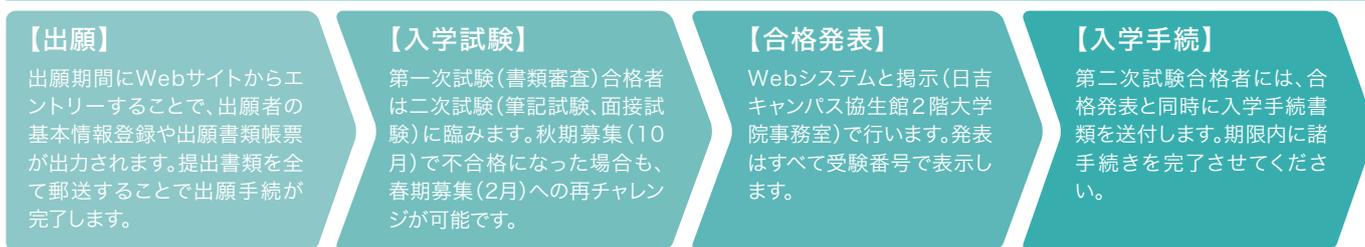
教授/トヨタチェアシップ基金教授

専攻分野:

経営戦略論、組織戦略論

入学試験概要

入学へのステップ



◆2018年度入学 新卒学生選抜制度入試概要

出願期間	2017年6月5日(月)～6月19日(月)	試験	2017年7月3日(月)
合格発表	2017年7月5日(水)13:00	入学手続期間	2017年7月5日(水)～7月18日(火)

- 募集人員 若干名
 - 試験科目 面接試験
 - 入学検定料 35,000円
 - 初年度納付金 2,117,600円 (2017年4月入学者実績)
 - 出願資格
 - (1) 日本国内の大学学部を2017年4月以降2018年3月までに卒業または卒業見込みの者
 - (2) 日本国内の大学学部の2016年度までの成績証明書に記載されている「A」相当(100点満点換算の80点以上)の評価を得た科目の単位数合計が、取得単位(自由科目は除く)の総単位数の3分の1以上の者
- *この出願資格は、秋期・春期の入試には適用されません。新卒学生選抜に出願したか否かにかかわらず、秋期・春期の入試にも出願できます。

Web <http://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/mba/application.html>

◆2018年度入学 修士課程 一般・国際プログラム重視・企業派遣者対象入試概要

多様性に富んだクラス実現のために、「一般入試」のほかに「国際プログラム重視入試」「企業派遣者対象入試」の2種類の入学試験オプションを提供します。

	秋期募集	春期募集
出願期間	2017年9月14日(木)～10月2日(月)	2018年1月12日(金)～1月29日(月)
第一次試験合格発表	2017年10月11日(水)13:00	2018年2月7日(水)13:00
第二次試験(筆記試験・面接試験)	筆記試験 2017年10月14日(土) 面接試験 2017年10月14日(土)または15日(日)	筆記試験 2018年2月10日(土) 面接試験 2018年2月10日(土)
第二次試験合格発表	2017年10月18日(水)13:00	2018年2月14日(水)13:00
入学手続期間	2017年10月18日(水)～10月30日(月)	2018年2月14日(水)～2月26日(月)

- 募集人員 約100名(新卒学生選抜・秋期・春期合計)
 - 試験科目
 - 第一次試験 提出された出願書類についての選考
 - 第二次試験 【一般入学試験】筆記試験(小論文)および面接試験
【国際プログラム重視入学試験】面接試験(一部英語)
【企業派遣者対象入学試験】面接試験
 - 入学検定料 35,000円
 - 初年度納付金 2,117,600円 (2017年4月入学者実績)
 - 出願資格
 - (1) 大学を卒業した者および2018年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2018年3月31日までに授与見込みの者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込みの者
 - (5) 我が国において、外国の大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了した者および2018年3月31日までに修了見込みの者
 - (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2018年3月31日までに授与見込みの者
 - (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であり、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および2018年3月31日までに修了見込みの者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
 - (9) その他、本研究科が大学学部を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに22歳に達する者
- 【一般入学試験】**
(1) 前述の「出願資格」を満たしている者
- 【国際プログラム重視入学試験】** 以下の(1)～(3)を満たしている者
(1) 前述の「出願資格」を満たしている者
(2) 出願日からさかのぼって過去2年間に受験した試験結果がTOEFL iBT90点以上またはTOEIC860点以上の者
(3) 第一言語が日本語である者、または日本の大学(主たる指導言語が日本語で学士の学位を取得する課程)を卒業した者および2018年3月31日までに卒業見込みの者
- 【企業派遣者対象入学試験】** 以下の(1)および(2)を満たしている者
(1) 前述の「出願資格」を満たしている者
(2) 本研究科が指定した企業・団体から派遣される者
*企業派遣の実績のない企業はお問い合わせください

Web <http://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/mba/application.html>

◆2018年度入学 後期博士課程入試概要

出願期間	2018年1月12日(金)～1月29日(月)	第一次・第二次試験	2018年2月11日(日)
合格発表	2018年2月14日(水)13:00	入学手続期間	2018年2月14日(水)～2月26日(月)

- 募集人員 8名
- 試験科目
 - 第一次試験 筆記試験(専門科目・英語)および書類審査
 - 第二次試験 面接試験
- 入学検定料 35,000円
- 初年度納付金 882,600円 (2017年4月入学者実績)
- 出願資格
 - (1) 大学院修士課程修了者および2018年3月修了見込みの者
 - (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者および2018年3月授与見込みの者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) その他、本研究科が修士課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者

Web <http://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/phd/application.html>

奨学金・融資制度

さまざまな奨学金や融資制度があります。奨学金ごとの申請期間・申請資格・提出書類などの詳細は、入学後に配付される「奨学金案内」およびWebサイトで確認してください。

Web <http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku>

【日本人学生対象】

●主な奨学制度

申請受付時期	奨学金の名称	給付／貸与	期間
入学前	小泉信三記念大学院特別奨学金	給付	1年間
4月	慶應義塾大学大学院奨学金	給付	1年間(修士1年、博士優先)
4月	慶應義塾大学「研究のすゝめ奨学金」(KBS)	給付	1年間(修士2年、博士対象)
4月	日本学生支援機構奨学金	貸与	標準修業年限
主に5月	指定寄付奨学金	給付	1年間(再申請可)
主に4月・5月	民間団体奨学金・地方公共団体奨学金	給付／貸与	標準修業年限のものが多い

(2017年4月現在)

【私費留学生対象】

私費留学生対象奨学金は在留資格が「留学」の学生を対象にしています。詳細は国際センターのWebサイトを参照してください。

Web http://www.ic.keio.ac.jp/intl_student/scholarship/intl_student.html

●主な奨学制度

申請受付時期	奨学金の名称	給付／貸与	期間
入学前	未来先導国際奨学金	給付	2年間
入学前	小泉信三記念大学院特別奨学金	給付	1年間
4月	文部科学省外国人留学生学習奨励費	給付	1年間
4月	慶應義塾大学「研究のすゝめ奨学金」(KBS)	給付	1年間(修士2年、博士対象)
4月、5月が多い	民間団体奨学金・地方公共団体奨学金	給付	標準修業年限のものが多い
10月	慶應義塾大学大学院奨学金(留学生)	給付	1年間

(2017年4月現在)

教育訓練給付制度

経営管理研究科修士課程は、教育訓練給付制度一般教育訓練給付金支給対象講座の指定を受けています。

Web ハローワークインターネットサービス https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

入試説明会、オープンキャンパスを開催

入試概要の説明、授業を体感できるオープンキャンパスを複数回実施します(2017年5月、11月を予定しています)。在校生や修了生の生の声を聞くこともできます。入学を検討される方はぜひご参加ください(Webサイトからの事前申込制)。

また、入試過去問題は、日吉学生部大学院事務室(協生館2階)にて閲覧できます。

窓口対応時間 平日 8:45~16:45

身分証明書をご持参ください。事務室内にて閲覧となります。(複写不可)

土曜日・日曜日・祝日・義塾が定めた休日および事務室の休業期間中は閉室となります。

Web <http://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/mba/application.html>

アクセス

慶應義塾大学日吉キャンパス

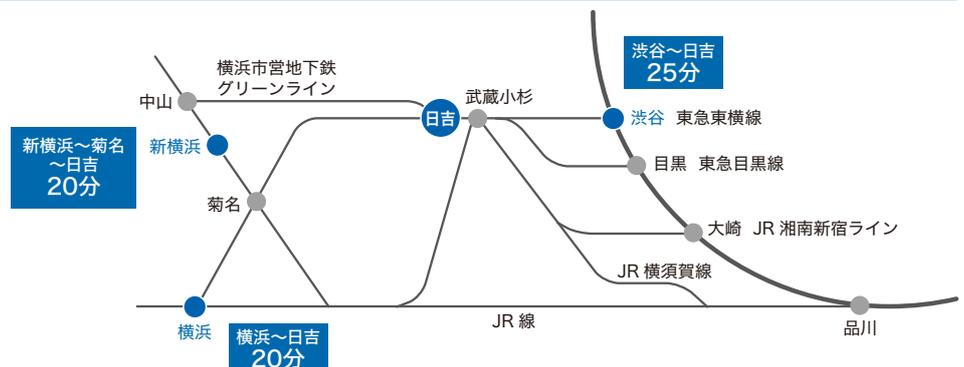
東急東横線・目黒線、
横浜市営地下鉄グリーンライン
「日吉駅」下車、徒歩1分

渋谷～日吉：25分(急行約20分)

横浜～日吉：20分(急行約15分)

新横浜～菊名～日吉：20分

※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。





Graduate School of Business Administration Keio University

[お問い合わせ]

慶應義塾大学日吉学生部 経営管理研究科担当

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

Tel : 045-564-2441 E-mail : gakukbs@info.keio.ac.jp

 [KeioBusinessSchool1962](https://www.facebook.com/KeioBusinessSchool1962)  [KBS1962](https://twitter.com/KBS1962)

<http://www.kbs.keio.ac.jp/>

